

平成 27 年度千葉市公営企業会計決算審査意見の概要

審 査 の 結 果 [意見書 P. 1]

公営企業会計決算及び決算附属書類は、いずれも法令に基づいて作成されており、その計数は正確であるとともに、経営成績及び財政状態は適正に表示されているものと認められた。

1 病院事業会計

【意見書】[P. 19－20]

(1) 入院・外来患者数共に増加し、当年度純損失は 3 億 6,824 万円である。前年度に比較し大幅に改善されたように見えるが、今年度新たに計上された資本費繰入収益（過年度損益修正益計上分を含む）14 億 9,568 万円は現金収入を伴わない会計上の利益であり、これを除いた場合、純損失が 18 億 6,393 万円となり、実質的な収支状況は昨年度と同水準である。

なお、海浜病院においては心臓血管外科における術後死事案の影響で、入院患者数が減少している。

(2) 経常収支が均衡するには病床利用率が概ね 80%強の水準達成が期待されるとのことだが、現在の病床利用率は改善はされたものの、73.5%と水準を下回っている。

(3) 資金面においては、資本的収支の補てん財源が不足するなど、極めて厳しい状態となっている。今後は、期中で資金不足に陥る事のないよう、適正な資金管理を行われたい。

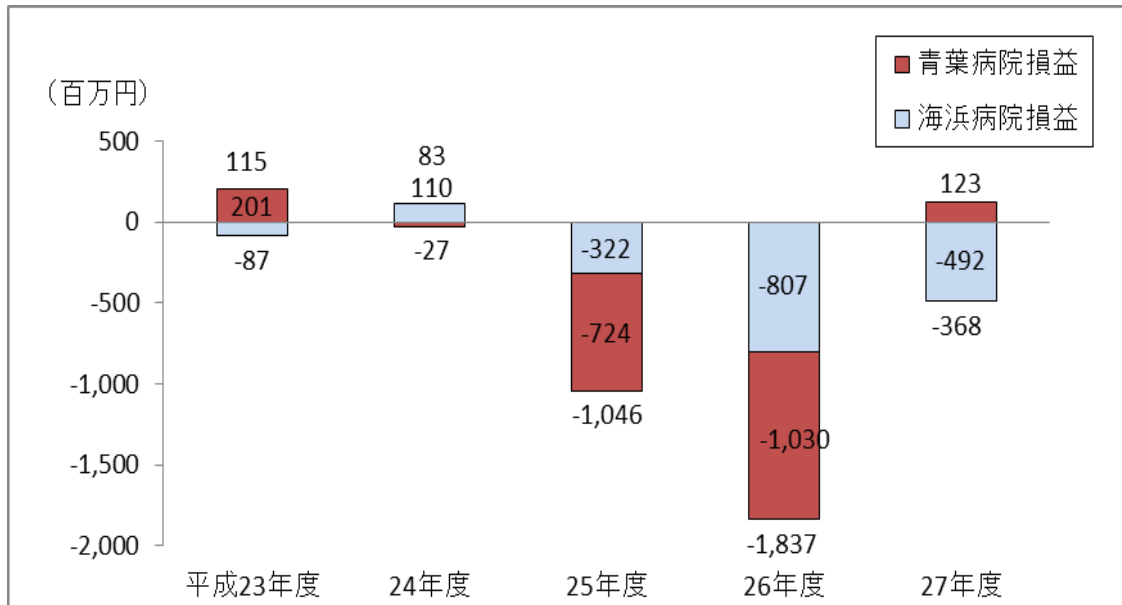
(4) 今後の事業運営にあたっては、救急医療や小児・周産期医療をはじめ地域に必要とされる医療に的確に対応するとともに、両病院の有する専門的な診療機能を十分に発揮して良質な医療を安定的に提供することで、市民の健康増進に一層寄与されることを期待する。また、海浜病院にあつては、再発防止策を早期に講じるなど、市民の信頼回復に努められたい。

【決算状況等】

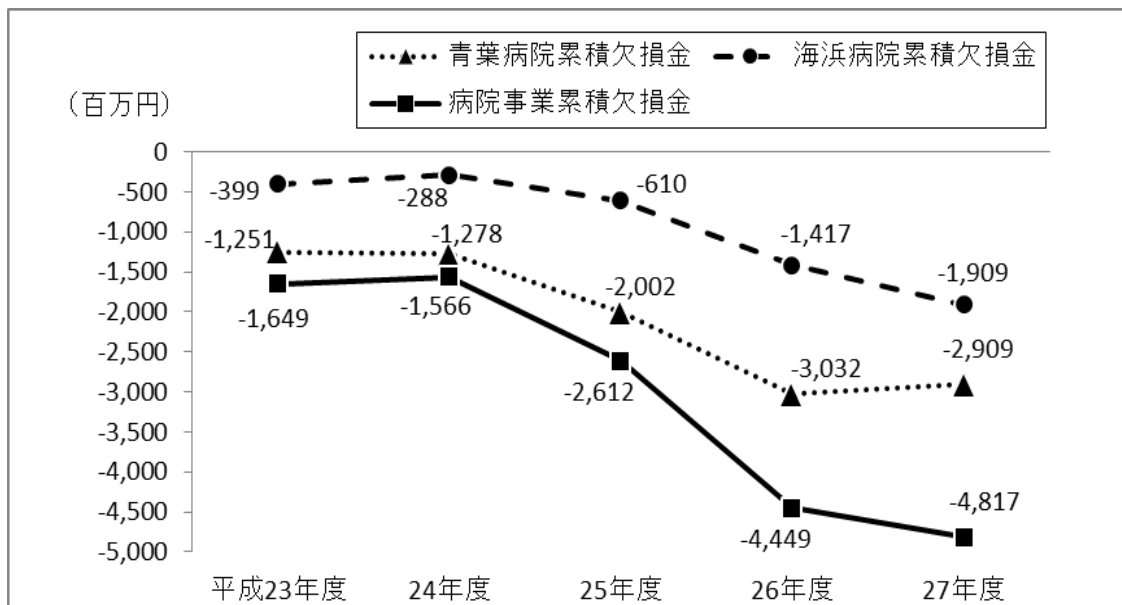
(単位：人、%、千円)

区 分	27 年度	26 年度	増 減
①延べ入院患者数	179,331	170,331	9,000
青葉病院	106,141	93,962	12,179
海浜病院	73,190	76,369	△3,179
②延べ外来患者数	352,301	345,272	7,029
青葉病院	204,150	199,474	4,676
海浜病院	148,151	145,798	2,353
③病床利用率	73.5	70.0	3.5
青葉病院	76.3	67.7	8.6
海浜病院	69.7	72.9	△3.2
④当年度純損益（注）	△368,245	△1,836,669	1,468,423
青葉病院	123,350	△1,030,053	1,153,404
海浜病院	△491,596	△806,615	315,020
⑤一般会計繰入金	3,425,945	3,453,557	△27,612
青葉病院	2,196,037	2,287,618	△91,582
海浜病院	1,229,908	1,165,938	63,970
⑥企業債残高	21,344,603	19,972,870	1,371,733
青葉病院	18,740,590	17,732,684	1,007,906
海浜病院	2,604,013	2,240,186	363,827
(注) 資本費繰入収益を除いた当年度純損益			
	△1,863,932	△1,836,669	△27,263
青葉病院	△960,944	△1,030,053	69,109
海浜病院	△902,988	△806,615	△96,373

当年度損益の推移



累積欠損金の推移



2 下水道事業会計

【意見書】〔P. 34－35〕

- (1) 接続人口が増加したものの、使用水量は接続人口の伸びほどには増えておらず、有収率は低下している。
- (2) 節水意識の高まりや汚水管渠整備が完了に近づいていること、また、本市の人口も平成32年度をピークに減少する見通しであることから、将来にわたって下水道使用料の大幅な伸びが見込めない状況である。このため、県水道局との上下水道料金徴収一元化を着実に推進するとともに、下水道使用料の口座振替の積極的な利用促進などによる収納率の向上に努められたい。
- (3) 「千葉市下水道事業中長期経営計画」に掲げた行動計画の達成に向け、引き続き適正な建設投資や経営の合理化・効率化、資金収支に基づく事業運営に取り組むことにより経営基盤の強化を図られたい。
- (4) 下水道は安全で快適な生活環境の実現と河川等の水質保全を図るために欠くことのできない重要な施設であることから、環境保全に配慮しつつ、将来を見据えた経営基盤の強化に留意し、より効率的な事業運営に取り組まれることを要望する。

【決算状況等】

(単位：m³、%、千円)

区 分	27 年度	26 年度	増 減
①有収水量（有収率）	95,630,589 (79.7)	95,456,916(81.1)	173,673 (△1.4)
②下水道処理人口普及率	97.3	97.2	0.1
③当年度純利益	1,613,317	1,178,755	434,562
④一般会計繰入金	8,360,413	8,408,680	△48,267
⑤企業債残高	245,851,364	250,874,404	△5,023,040

3 水道事業会計

【意見書】〔P. 49－50〕

- (1) 給水収益については、給水人口の伸び悩みや節水意識の高まりなどにより、水需要の大幅な増加による改善は見込めない状況であるため、今後とも、業務内容の精査などによる営業費用の縮減に努められたい。
- (2) 1年以内に返済すべき負債が現金化できる資産を上回り、資金の流動性が低下していることから、適正な資金管理・運用に留意されたい。
- (3) 固定資産のうち約半分は、霞ヶ浦開発の水利権等に係る無形固定資産仮勘定であるが、この水利権等の取得に係る割賦負担金については、今年度までに約99%を償還している。しかし、割賦負担金等の財源として発行された企業債の当年度末未償還残高は、203億2,356万円となっている。
- (4) 国などの動向や本市の給水人口の約95%が千葉県水道局から供給を受けている実態などを踏まえ、現状分析・将来予測及び広域連携、民間活用などの先進事例について十分な調査・検証を行い、千葉市地域におけるより望ましい水道事業の在り方について検討されたい。

【決算状況等】

(単位：m³、%、千円)

区 分	27 年度	26 年度	増 減
①有収水量（有収率）	4,660,502 (99.7)	4,633,163 (97.9)	27,339 (1.8)
②給水普及率	82.4	82.5	△0.1
③当年度純利益	0	0	0
④一般会計繰入金	818,894	794,733	24,161
⑤企業債残高	20,323,562	20,600,123	△276,561
⑥流動比率	76.3	90.8	△14.5